

自宅(施設)の周りの **確認と駆除**をするには

1 見つけ方

クモの巣で見分けてみましょう

セアカゴケグモの巣



- ・落ち葉等を付けた不規則な巣(網)
- ・地面近くでかたい(粘りけの強い)糸

在来のクモの巣



- ・糸だけのきれいな網状の巣
- ・空中にある巣、やわらかい糸

2 駆除作業の方法



ゴキブリ用スプレーなどを巣全体に吹きかけます



セアカゴケグモが飛び出したら、弱ったのを確認してふみ潰します



棒などで巣を取り出します



卵のう(卵の入った袋:直径約1cm)をふみ潰します



火気を使用する(できる)場合は、巣ごと燃やします

もう一度、安全確認をしましょう

生き残った子グモが大きくなった頃(2~3週間後)に、駆除したところを再確認しましょう

準備物



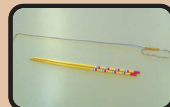
厚手の手袋(軍手など)
必ず手袋をはめて!
(薄手のゴム手袋は×)



ゴキブリ用殺虫スプレー(ヒレスロイド系)
成虫に噴射します
(卵のうには効きません)



草焼きバーナー
巣ごと燃やせませ
(火の取り扱いは十分注意)



針金・さいばしなど
巣の掻き出しなどに便利



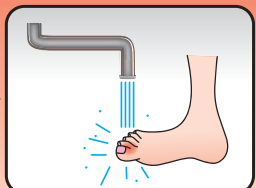
3

もしも **セアカゴケグモ** に咬まれたら...

咬まれた時の処置の仕方



万一、クモに咬まれたら...



傷口を流水で洗い、患部を冷やします。包帯や止血帯はしないほうがよいでしょう。



市販の家庭用殺虫剤(ゴキブリ用ヒレスロイド系)でクモを殺します。



患部を冷やししながら、直ちに病院に行きましょう。乳幼児の場合は救急車を呼びましょう。

病院には、咬まれたクモを殺して持参した方が適切な治療につながります。



セアカゴケグモは強い毒性をもっています。攻撃性はなく、おとなしいクモです。素手でさわらない限り咬まれることはありません。

咬まれた時の症状

- ・咬まれるとはじめはチクリと針で刺したような痛みを感じます。(すぐに痛みを感じないこともあります。)
- ・やがて咬まれた部分のまわりが腫れて赤くなります。痛みは次第に全身に広がることもあります。
- ・悪化すると全身症状(吐き気、さむけ等)が現れることもあります。
- ・通常は、数日から数ヶ月で回復する例が多いです。
- ※なお、重症化(全身症状)した場合は、大阪府立急性期・総合医療センターに抗毒素血清を常備しています。



4